

沼垂 かがみ



〈学校の教育目標〉

- よく考える子
- 力をあわせる子
- 体をきたえる子

〈児童数〉

369名
(家庭数299)

発行 新潟市立沼垂小学校 広報部
TEL(247)5326 FAX(247)5327

ホームページ <http://www.nuttari.city-niigata.ed.jp/>

学校のページを
随時更新しています。
是非ご覧ください。



今月号の内容

- 巻頭言
- 地域と学ぶ
- 体育まつり2023
- 食育について
- 各種入賞者紹介

資質・能力を身に付ける

校長 かど 門倉 くら 純 じゆん 一 いち

この度一月一日に発生した能登半島地震において、被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

その日、私は、沼垂校に避難してくる方の対応に当たりました。駆けつけた時には、すでにたくさんの方が校舎の上層階に避難しており、その後も続々と近隣にお住まいの方が集まって来ました。学校内はいつ来るかわからない地震や津波への恐れによる緊張感が高まる一方で、市役所の方、地域の防災担当、消防の方、有志の方が、避難所の運営について、マニュアルを確認して相談しながら慌てずに進め、大きな混乱は生じませんでした。学校が避難所として十分に機能するよう、暖房や備品の使用等についての窓口になった櫻井教頭も大活躍でした。

今回の揺れはとてつもない大きさで、避難所の運営をしながら、災害への恐怖や避難している家族への心配等で胸騒ぎが止まりませんでした。ただ、子どもたちに大きな被害がなかったことに胸を撫で下ろしています。今回の経験を通して、当たり前の生活ができることの幸せを改めて感じるとともに、非常災害時に命を守るために必要な資質・能力を身に付けることの大切さも強く感じさせられました。

ところで、一月のある日のこと。いつものように校門前で子どもたちを出迎えていると、一人の一年生がニコニコ顔で私に声を掛けてきました。

「学校に行くときに、いつも知らないおばあちゃんにあいさつをしているんだけど、それなら今日、『毎朝あいさつしてくれてうれいよ』って言われたんだよ。」

とても微笑ましい光景が目に見え、行動の詳細を様々な角度から分析してみると、

この一年生に次の力が育っていることが分かります。

- ① 地元、地域には自分の安全を見守ってくれる人がいることが分かる。
- ② あいさつをして支えてもらっているお礼の気持ちをもつ。
- ③ 自分から相手にあいさつをして気持ちを伝えようとする。
- ④ 毎朝、あいさつを続けている。
- ⑤ おばあちゃんの話していることに耳を傾けることができる。
- ⑥ 今朝あった出来事を、校長に伝えることができる。

さらに、これら①～⑥を、今年度沼垂校で目指している子どもたちに身に付けてほしい資質・能力と照らし合わせてみました。

- ① 沼垂から学ぶ力
 - ② 認め合う力
 - ③ 支え合う力
 - ④ 粘り強く取り組む力
 - ⑤ 聴く力
 - ⑥ 伝える力
- ピットリとまではいかないまでも重なるところが多くあり、私たちが目指している資質・能力が、日々の生活の中で着実に身に付けてきていることが分かりました。とてもうれしいことです。
- このように、普段の子どもたち一人一人の行動には、やって当たり前と思うようなことでも、細かく見つめ直してみると、これまでには見られなかった力を発揮していることがあるのです。子どもの成長のすばらしさを改めて感じました。

今年度の沼垂校では、たくさんさんの活動を実施し、子どもたちの自らチャレンジしているすてきな姿が随所に表れていました。支えてくださった皆様に厚くお礼申し上げます。来年度も、このチャレンジは続きます。